

活動内容

〈題〉「家庭・地域社会・学校が一体となって地域の宝を育てよう」

学級名 盛岡市立渋民小学校

学級担当者 正木 啓一

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 渋民小学校 PTA 会員、地域住民、渋民小学校児童
- ・ 学級の運営組織 渋民小学校区教育振興協議会
- ・ 学習のねらい、重点 家庭・地域社会・学校がそれぞれの役割を担いながら、地域の宝である児童の健やかな成長を一丸となって支えていく。

2 学習計画と活動の状況

回	日 時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	11 月 30 日	依存は子どもの SOS ～子どもを「知る」ことから始まる支援～	未来の風せいわ病院 教育支援室 室長 鈴木りほ 先生	(交流会参加合計人数) 53 人
		内 容	感 想 等	
		ゲームや YouTube、SNS 等、様々な依存症状の子どもたちの考えや行動を理解するとともに、子どもたちの内なる SOS を感じ取り、適切な関わり方をするための子育てや教育の在り方について学ぶ。	第Ⅶブロック研修交流会を「学びのつどい」とし、職員並びに保護者で参加した。講師先生に、依存する子どもの心情や行動に関わる内容について、分かりやすくご教授いただくとともに、依存する子どもへの言葉かけや支援の仕方の具体的な方法についてアドバイスいただいた。子どもの視点立った児童、生徒理解とそれに基づく子育て、教育の在り方を学ぶことができた。	
2	2 月 12 日 開催予定	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
		大切ないのちについて	岩手医科大学看護学部成育看護学講座 講師 西里 真澄 先生	児童・保護者 60 名 (予定)
		内 容	感 想 等	
		思春期の児童とその保護者が、かけがえのない命の大切さについて、講師から学ぶ機会とする。	(2 月 12 日開催予定)	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果

「子どもの気持ちによりそう」と言いつつ、具体的に依存症の子どもたちの考え方や行動について、その根本の原因の理解が不十分だったと感じるとともに、改めて、理解しておくことの重要性を共有することができた。
2 月の講義についても、理解することの大切さを共有できるよう、児童、保護者に呼びかけ参集を促したい。

(2) 今後の課題

大変有意義な講習の内容で非常に勉強になったが、参加人数が想定より少なく、呼びかけ不足を痛感した。
有意義な研修の内容について、広く周知するとともに、今後もより多くの参会者により共有できるよう、呼びかけにより多くの参加者を募るとともに、資料配布や動画視聴による参加等、周知、共有の方法についても検討する。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

特になし